

株主通信

第75期 第2四半期

2025年3月1日～2025年8月31日



赤い帆のセールボート (デンマーク)

TOPICS | 阪神間の高校生たちが来社し、 海洋プラスチック課題について議論しました

2025年7月26日、スーパーサイエンスハイスクール支援事業の取り組みとして、阪神間の高校生を当社に招待し、海洋プラスチック課題について、講義および課題解決に向けた意見交換などを行いました。当日は、大阪府、大阪大学による講義に続き、当社の大型水槽実験施設を活用して、魚群探知機を使用した海洋プラスチックごみの探知評価実験を実施。企業の課題解決における最新の取り組みを学ぶことで、次世代を担う高校生に社会課題を認識し、問題意識を持ってもらうことを目的として行われました。当社は、今後も海洋プラスチック課題について啓発活動を推進してまいります。



阪神間の高校生と、海洋プラスチック課題を議論

中期経営計画フェーズ2の最終年度、 新たな目標を策定し、さらなる成長を目指します。

代表取締役
社長執行役員 兼 CEO
古野 幸男



商船向け市場をはじめ、 需要環境は好調に推移しました。

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当中間連結会計期間の世界経済は、米国による新たな関税政策の発表を契機に、先行きへの不透明感が急速に広がり、慎重な注視が求められる状況となっています。わが国では、政府消費や公共投資が低調に推移した一方、設備投資が好調に推移し、総じてプラス成長を維持しました。

このような経済環境の中、当社グループの関連する市場において、船用事業のうち商船向け市場では、GHG（温室効果ガス）排出削減に向けた代替燃料船の需要が根強く、造船会社が抱える手持ち工事は継続して高い水準を維持しています。漁業向け市場では、アジアの需要が好調に推移しました。産業用事業では、ITS・GNSS市場での国内の自動車販売台数は回復傾向で、5Gエリア拡大に伴う携帯電話向け基地局数は高水準を維持。防衛装備品事業における国内の防衛関連市場は、防衛予算の増額に伴い拡大しました。

中間期における売上、利益とともに 過去最高を更新しました。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高は686億5千3百万円、営業利益は93億3百万円、経常利益は101億6千9百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は101億9千万円といずれも前年同期を上回りました。

当社グループは、経営ビジョン「FURUNO GLOBAL VISION“NAVI NEXT 2030”」のもと、利益水準の向上、売上規模の拡大による成長投資の資源捻出、サステナブル経営の実行を基本施策とする中期経営計画フェーズ2の最終年度を迎えています。また、“NAVI NEXT 2030”の成長目標（連結売上高1,200億円、営業利益率10%）を前倒しで達成したことを踏まえ、2027年2月期スタートの中期経営計画フェーズ3の策定を進めております。新たな目標の設定により、当社グループのさらなる成長を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

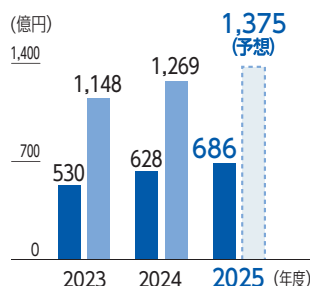
2025年11月

連結業績ハイライト（第75期 第2四半期）

■ 第2四半期累計 ■ 通期

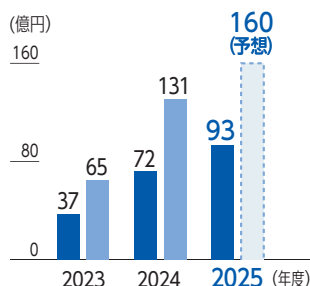
売上高

686 億円
前年同期比 **9.3%増** ▲



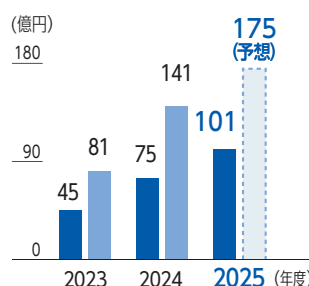
営業利益

93 億円
前年同期比 **27.5%増** ▲



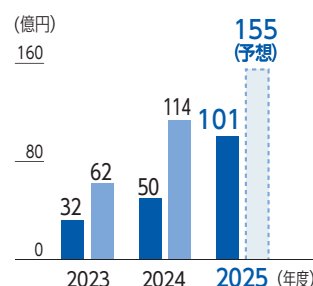
経常利益

101 億円
前年同期比 **35.3%増** ▲



親会社株主に帰属する 四半期 (当期) 純利益

101 億円
前年同期比 **101.1%増** ▲



配当について

当期の中間配当金につきましては、1株当たり75円とさせていただきます。期末配当金は1株当たり75円（年間配当金は1株当たり150円）を予定しております。

船用事業

売上高

599億円

セグメント利益

95億円

15/19/27型
漁労用レーダー（500 W）
FAR-2228-NXT主な
製品

- 航海機器
- 無線通信装置
- 漁労機器

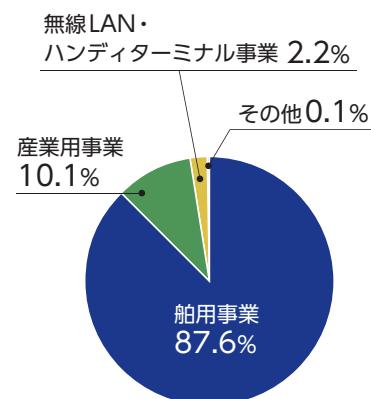


■ 米州では、今期上市した戦略製品「CSH-10」*を中心に販売が継続して増加。欧州では、主に商船の既存船向け機器の販売や保守サービスが高い水準を維持しました。

*ページ下部の「NEWS」にてご紹介

■ アジアでは主に商船の新造船向け機器の販売が継続して増加。日本でも商船向けの機器販売が増加しました。

事業別売上高構成比



産業用事業

売上高

69億円

セグメント利益

1億円

時刻同期用 GNSS受信モジュール
GT-100主な
製品

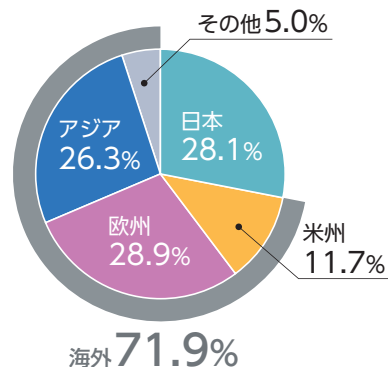
- 医療機器
- GPS 機器
- ETC車載器



■ ITS・GNSS事業では、時刻同期製品の販売が海外向けを中心に好調に推移しました。

■ 防衛装備品事業では、新たな生産管理システムへの移行による影響は徐々に緩和され、生産体制は正常化に向かっています。

地域別売上高構成比



無線LAN・ハンディターミナル事業

売上高

15億円

セグメント利益

900万円

無線LANアクセスポイント
ACERA 331主な
製品

- 無線LAN機器
- 無線ハンディターミナル



■ 主に文教市場向けの需要環境は低調に推移し、無線LANアクセスポイントの販売が減少しました。



詳細な財務情報はフルノ企業
情報サイトをご覧ください。

<https://www.furuno.co.jp/>
>IR・投資家情報

NEWS —新製品紹介—

荒天時でも安定の探知を可能にした 姿勢センサーを標準搭載 全周型カラースキャニングソナー 「CSH-10」

自船周囲全方向の水面下の状況を瞬時に捉え、魚群や海底、投下した網など、海中の様々な状況を容易に把握できる、全周型カラースキャニングソナー「CSH-10」が登場。85kHz高周波送信により瀬付き・底付き魚群を判別できる探知性能を備えていることに加え、シャープなビーム幅は表層魚群の探知に有効です。また、姿勢センサーを標準搭載したフルノ独自のビームスタビライズ技術により、荒天時でも安定した映像表現を可能にしました。カジキ釣り大会では必須の装備として、アメリカで話題沸騰です。



特長

- 新たに「ティルトインジケータ」を表示画面に設けたことで、直感的なエコー位置の認識が可能です
- 従来よりもさらに遠距離から、魚群や構造物を捉えることが可能に（旧モデルより遠距離探知性能は約2割アップ）
- 荒天時でも、瀬や魚群の安定した探知が可能な「ビームスタビライズ機能」を採用

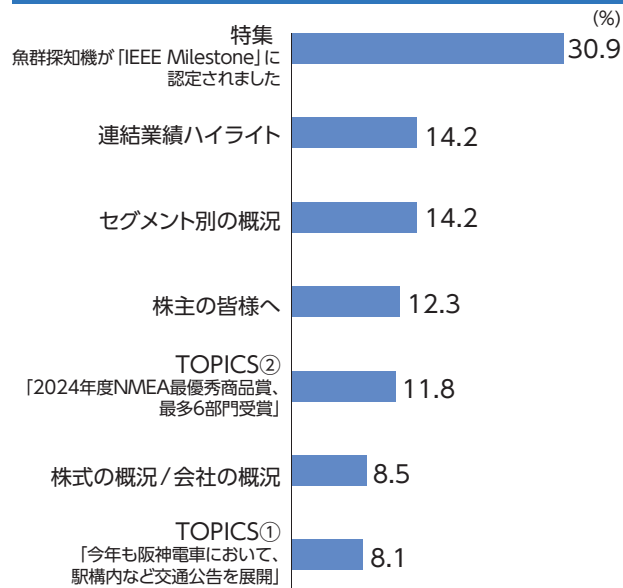
株主様WEBアンケート結果のご報告

前回の株主通信にて告知したWEBアンケートに、多くの皆様にご協力いただき、誠にありがとうございました。ご要望や激励のお言葉などを多数いただき、大きな励みとなりました。この場をお借りしてお礼申し上げますとともに、アンケート結果の概要についてご報告させていただきます。なお、ご回答いただいた株主様には「FURUNOカレンダー2026」を12月上旬に発送いたします。

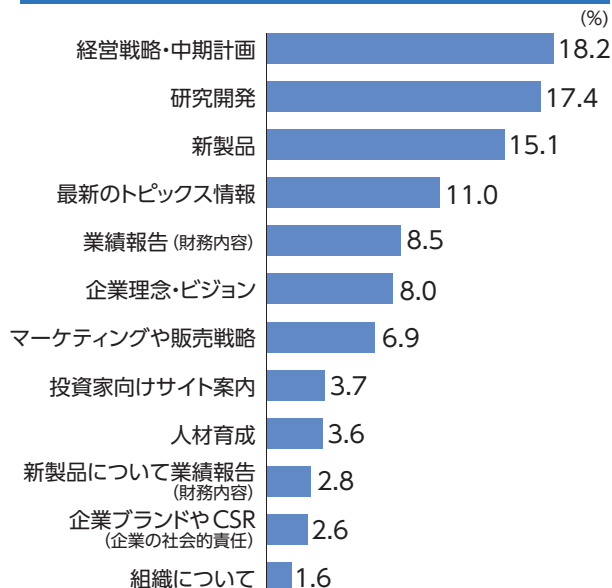
【実施期間】 2025年5月23日～6月30日

【回答者数】 1,024名

興味深かった記事



記載してほしい内容



主な コメント

- 御社の歴史、強み、プランなどが簡潔にまとめられて、とても読みやすかったです。
- 端的にまとめられていて、量的にもとても読みやすかったです。知識がなくても、計測ブイや魚探について分かりやすく説明されていて関心が持てました。

「株主様工場見学会」のご報告

9月29日(月)、当社へのご理解をよりいっそう深めていただくため、「株主様工場見学会」を開催しました。563名の申し込みの中から当日は抽選で34名に工場を見学いただきました。見学会は、株主様から直接ご意見を伺う貴重な機会となりました。当日の様子をご報告させていただきます。

「株主様工場見学会」開催概要

【開催日】
2025年9月29日(月)

【見学場所】
三木工場(兵庫県三木市)

【対象者】
2025年2月28日現在、
当社株式を100株以上
ご所有の株主様



当日のスケジュール

① 会社説明・工場説明→
② 工場ご見学→③ 質疑応答

●ご参加いただいた株主様からのご質問

Q 生産現場をもう少し自動化したら、効率よく生産できるのではないのでしょうか？

A 技術的にはまだ自動化できる工程もありますが、三木工場では細かな仕様を含めると約3,000品種と品数が多いため、すべてを自動化するのはかえって非効率になる場合があります。そのため、一部の工程ではあえて人の手による作業を残しながら、当社にとって最適な生産体制の構築を進めてまいります。



＼ アンケートでいただいたご意見・ご質問にお答えします /

Q

前号の魚探の開発ストーリーが面白かったです。
他の開発ストーリーも教えてください。

A

海の中の“魚”を探すには、空を飛ぶ“鳥”を探せばいい。
このアプローチから誕生した1986年発売・世界初の「海鳥探知機」※について
ご紹介します。 ※海鳥レーダーの発売当初の名称は、海鳥探知機



世界初！海鳥レーダー開発ストーリー

海鳥探知機の開発前

揺れる船から双眼鏡で鳥を探していた

かつて、カツオやマグロを狙う漁船の乗組員は、揺れるアッパーブリッジに立ち、双眼鏡で海面近くを飛ぶカツオドリの群れを必死に探していました。なぜならカツオドリは、カツオやマグロに追われて海面近くに魚群をつくる小魚を狙っているから。つまり、カツオドリの下には、カツオやマグロがいるのです。



小魚の群れに向かって突っ込む
カツオドリの群れ

大海原でいつ見つかるかも分からないカツオドリを長時間探し続けるのは非常に過酷な作業。「漁師さんのその苦労を知っていたら、黙っちゃおれません」と故・古野清孝(創業者)

1985年7月

失敗から生まれた成功のモト

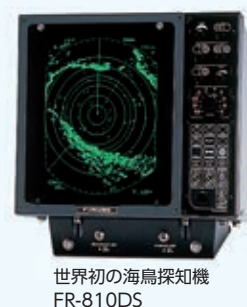
1985年7月、当社のエンジニア2人が「荒天用レーダー」の実験を行ったものの、残念ながら実験結果は「他船の探知不十分」で失敗。しかし一方で、レーダーは空を飛ぶ「かもめ」を捉えていました。これが「海鳥探知機」の開発のきっかけとなったのです。

「レーダー波は相手が金属じゃないとつかまらないというのが通説でした。でも、魚群探知機を開発した時だって、魚は超音波には映らないと言われた。私はこういうものを“円満なる常識”と言って打ち破ってきました」と故・清孝

1986年1月

海鳥探知機が誕生 そして漁船の必須アイテムに

レーダーが写し出した「かもめ」の写真を目にした故・古野清賢(創業者)らは、「これはいける」と直感的に確信。しかし、当初は実験に協力してくれる船頭や船長さえもこのレーダーには期待していませんでした。ところが、実験操業中の船頭から「商品価値は最高と称賛する」との電文が届きました！ こうして「海鳥探知機」は誕生しました。



世界初の海鳥探知機
FR-810DS

海鳥探知機により、それまで2ヶ月かかっていた漁獲量を半分の1ヶ月で確保できるようになり、大ヒット商品に。雨や霧の中でも鳥の探索が可能となり、漁船の必須アイテムとなりました。

最新の海鳥レーダー、続々登場！

フルノは、海鳥レーダーの最新機種を続々と誕生させています。そのひとつが、圧倒的な遠距離探知性能でいち早く鳥群れの状態を検知できる、「高出力Sバンド海鳥レーダーFAR-2268DS」です。また、プレジャーボートの世界でも、近～中距離の海面に近い海鳥を探知するのに適した「レーダーセンサー DRS X-Classシリーズ」が、回遊魚のフィッシングを楽しむお客様にご好評いただいています。



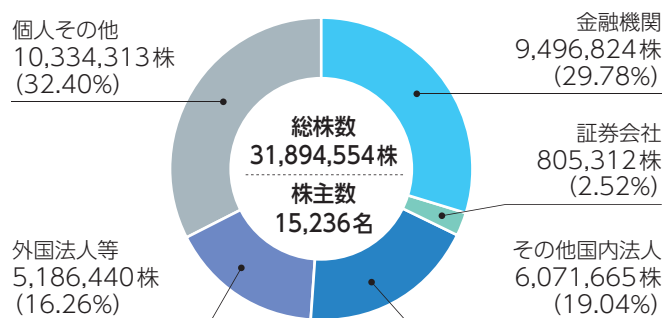
レーダーセンサー
DRS4D X-Class



高出力Sバンド 海鳥レーダー
FAR-2268DS

～皆様からいただいた貴重なご意見をもとに、今後もIR活動の充実に努めてまいります。～

■ 株式の状況 (2025年8月31日現在)



※個人その他には、自己株式 286,431 株 (0.90%) を含んでおります。

■ 大株主の状況 (2025年8月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
古野興産株式会社	4,186	13.24
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,383	10.70
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,065	3.37
第一生命保険株式会社	1,000	3.16
株式会社三菱UFJ銀行	992	3.14
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	942	2.98
古野電気取引先持株会	910	2.88
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	629	1.99
エコ興産有限会社	560	1.77
古野電気社員持株会	400	1.27

※持株比率は、自己株式 286,431 株を控除して計算しております。

■ 会社概要 (2025年8月31日現在)

社名	古野電気株式会社
設立年月日	1951年(昭和26年)5月23日
本社所在地	〒662-8580 兵庫県西宮市芦原町9番52号
資本金	7,534百万円
主な事業	船用電子機器および産業用電子機器などの製造販売
従業員数	3,427名(連結) 1,968名(個別)

単元未満株式をお持ちの株主様へ

単元未満株式(1~99株)をお持ちの株主様は、当社に対し市場価格で単元未満株式をご売却(買取制度)または単元(100株)にするために必要な株式を当社からご購入(買増制度)いただくことが可能です。

〈例〉45株をお持ちの株主様の場合

買取制度

45株を当社に売却することができます。

買増制度

55株を買い増して、100株にすることができます。

〈お問い合わせ先〉

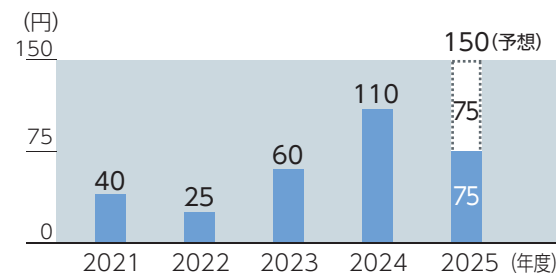
●証券会社等の口座でご所有の単元未満株式

お取引の証券会社等にお問い合わせください。

●特別口座でご所有の単元未満株式

特別口座の口座管理機関であるみずほ信託銀行株式会社(0120-288-324)にお問い合わせください。

■ 配当金の推移



株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで

定時株主総会 毎年5月開催

基準日

定時株主総会 毎年2月末日

期末配当金 毎年2月末日

中間配当金 毎年8月31日

その他、必要がある場合はあらかじめ公告いたします。

公告の方法 電子公告 (<http://www.furuno.co.jp>)

ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

単元株式数 100株

上場金融商品取引所 株式会社東京証券取引所 プライム市場

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理人

同 連 絡 先
(お 問 い 合 わ せ 先)

お 取 扱 窓 口

特別口座管理機関お取扱店

未 払 配 当 金 の お 支 払

東京都千代田区丸の内一丁目3番3号

みずほ信託銀行株式会社

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

☎ 0120-288-324

(ご利用時間: 土・日・休日を除く 9:00 ~ 17:00)

お取引の証券会社

(特別口座管理の場合は、特別口座管理機関のお取扱店)

みずほ信託銀行

みずほ信託銀行 本店および全国各支店

みずほ銀行 本店および全国各支店